

ぎ じ ゅ つ し

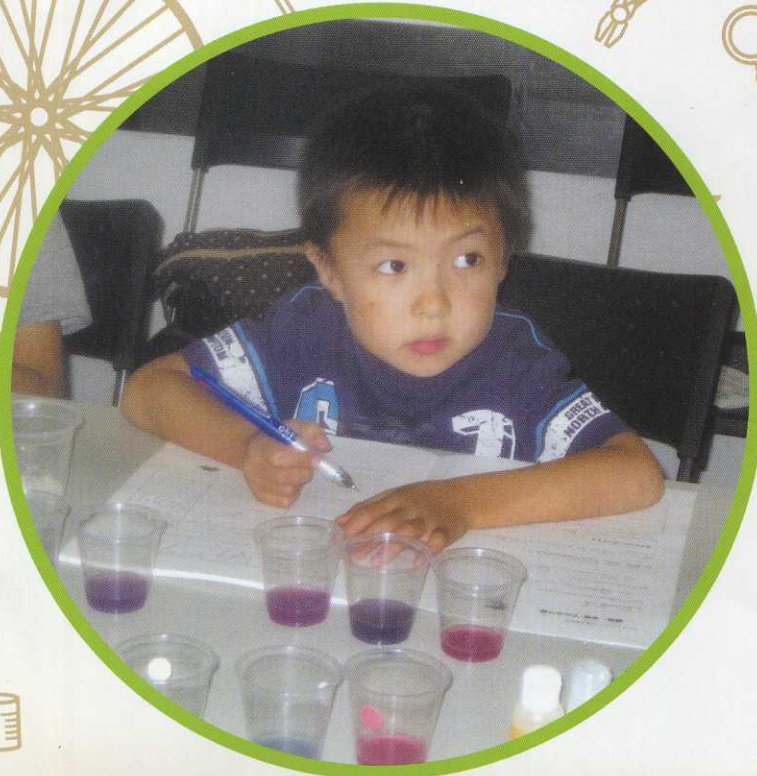
# 技術士

## による

技術士とは、  
「技術者に与えられる最高の資格」  
ともいわれる国家資格です。  
科学技術の専門家集団です。

# コード理工科 実験教室2011

# 報告書



## ご挨拶

京都技術士会では、理科支援チームを設けて、子ども理科実験教室を開催しています。

この活動は、今年で6年目となりましたが、理科のプロである技術士が、自らの経験と専門知識をもとに、子ども達に理科実験を体験させ、これを通じて、理科の楽しさ、おもしろ、社会での大切さ、身の回りの事柄との関係の深さを伝え、日本の将来を担う理科好きの子ども達を育てることを目的としています。

今年の子ども理科実験教室は、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)、柏岡精三記念基金(公益財団法人大阪コミュニティ財団)の助成も得て、夏休み期間を中心に、京都市、大津市、東近江市、向日市で計10回開催し、小学生を中心に延べ300名を超える子ども達の参加を得ました。以下、その概要を紹介します。

なお、京都技術士会理科支援チームでは、このほか、小学校等への理科の出前授業、各種催しでの理科実験なども行っています。

# 子ども理科実験教室概要

教室	開催地	期日	会場	テーマ/講師	参加者数 (子ども)	
夏休み子ども理科実験教室	京都市	7/23(土)	ひとまち交流館京都	「酸性、中性、アルカリ性」野田公彦技術士 「ものの力、かたちの力」仲矢順子技術士 「圧力の不思議」棕田陸夫特別会員 「お絵かきバッグ、お絵かきハンカチ」安田稔技術士	33人 注1,2,3	
		8/12(金)		「地震時の液状化って何だろう？」山本裕之技術士 「センサーって何？」柴田究技術士 「コイルの不思議」千田琢技術士 「手づくり乾電池教室」川嶋真生技術士	29人 注1,2,3	
		8/20(土)		「熱はどうやって伝わるのかな」鈴木次郎技術士 「物のまわりの流れの力」森啓充技術士 「糊ってなんだ！～ものとものがくつつく仕組み～」宮西健次技術士 「望遠鏡を作ろう」的場一洋技術士	29人 注1,2,3	
	大津市	7/23(土)		大津市科学館	「騒音をなくすには」深田晃二技術士 「エネルギーを考える」末利鏡意技術士 「波の不思議」桶屋真士技術士 「モーターの原理」高山武史技術士	42人 注1,2
	東近江市	8/13(土)		西堀栄三郎記念 探検の殿堂	「熱はどうやって伝わるのかな」鈴木次郎技術士 「身近なものの正体を探る」田中宏技術士 「地震はなぜ起きるのか？」竹内篤雄技術士 「機械が動くしくみ」岩淵正幸技術士	38人 注2,4
	不思議発見！理科教室	向日市		6/11(土)	向日市中央公民館	「水と友達になろう」野田公彦技術士 「タワシロボットを作ろう」桶屋真士技術士 「風力発電で実験しよう」川端正詳技術士 「電池って楽しいよ！」二村光司技術士 「クラゲは光る！」黒田誠技術士
7/9(土)			30人			
8/13(土)			26人			
9/10(土)			21人			
10/15(土)			30人 注2,5			

注1 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成事業  
 注2 公益財団法人)大阪コミュニティ財団柏岡精三記念基金助成事業  
 注3 京都市教育委員会後援  
 注4 東近江市教育委員会後援  
 注5 向日市中央公民館主催(予定を含む)

合計  
306人

